様式３(2020.08改)

作成日　令和2年11月26日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392300162
事業所名	グループホームほっと

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	コロナ禍によって、利用者が楽しみにしていた地域の行事がすべて中止となり、地域との交流が中断している。 ボランティアの受入れも自粛しているが、唯一有償ボランティアとして訪問理美容だけが2ヶ月ごとに来訪している。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	市の方針に従って、今年度の運営推進会議はすべて書面開催となっている。 中止(書面開催)の旨を連絡する際に意見を求め、近況を伝える文書(「運営推進会議開催報告書」)を作成して会議メンバーに配付している。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	市の高齢者福祉課と地域包括支援センターの職員が運営推進会議のメンバーとなっており、ホームの状況を把握して適切なアドバイスを行っている。 管理者の交代があり、必要な手続きや報告では市・担当課を訪問するが、市からの連絡等のほとんどのやり取りはメールで行われている。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	家族の面会は、玄関で手指消毒等を行った上で、居室内での面談を認めている。 その際に、職員が家族の意見や要望を聞き取っている。 コロナ禍によって面会を控える家族も多く、毎月のホーム便り「ほっと」に利用者の写真を掲載し、ホームや利用者の近況を知らせている。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

市の方針に従って、昨年度の3月開催分と今年度(5月、7月、9月、11月)の運営推進会議はすべて書面開催となっている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										